



水道施設の老朽化対策及び耐震化の 支援の拡充について



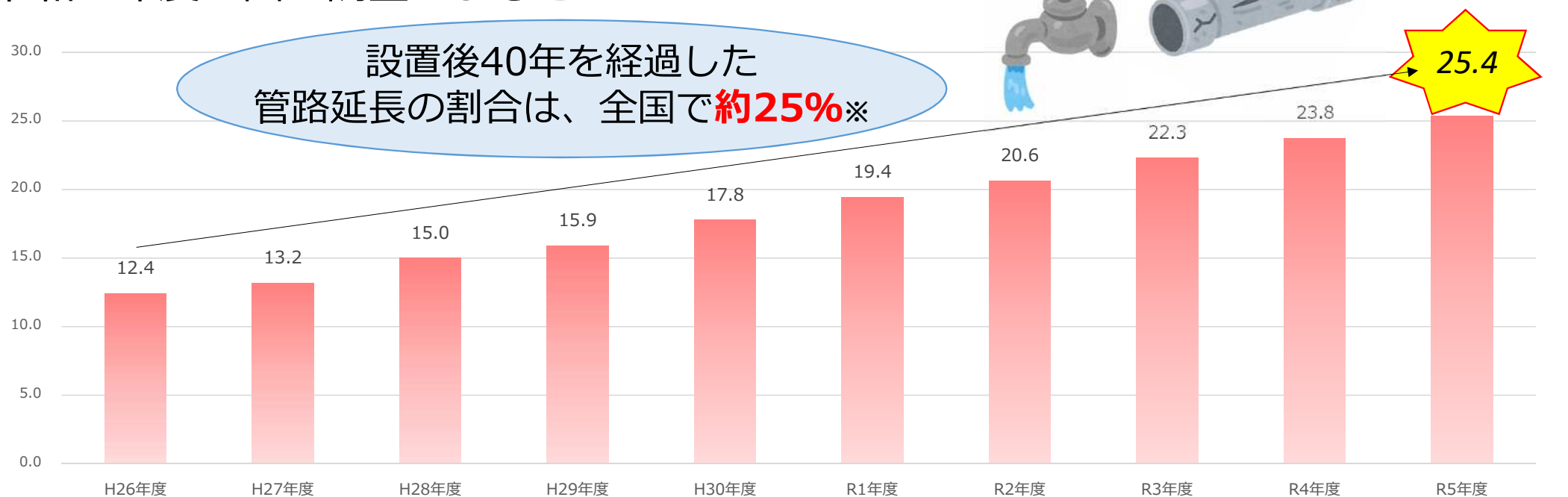
神奈川県

水道施設の老朽化対策及び耐震化の支援の拡充について

提案の背景

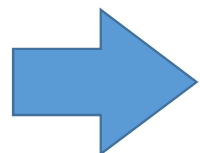
水道施設は多くが高度経済成長期に整備され、老朽化が進行

令和5年度の国の調査によると…



※全管路延長約77.3万kmに占める法定耐用年数（40年）を超えた延長約19.6万kmの割合

出典：総務省 地方公営企業決算



この割合は今後、更に高まっていくことが予想される

大規模な漏水事故の発生

現状と課題

そのような中…



令和7年4月 京都市

- 老朽化した水道管（S34年布設）が破損
- 国道1号が交通規制に至るなど大きな被害



出典：国土交通省資料から抜粋



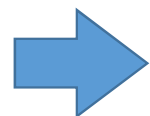
令和7年6月 鎌倉市

- 老朽化した水道管（S39年布設）の継手部分のボルトが腐食し離脱
- 周辺地域約1万戸の断水により、住民生活・観光地に大きな影響



現状と課題

水道施設の老朽化対策及び耐震化を進めるためには、多額の資金が必要だが、水道料金収入が減少しており、経営環境が厳しい状況



防災・安全交付金等の国庫補助の活用が欠かせない

しかし

- 年度当初から**必要な予算が確保されていない。**
- 補正予算による措置はあるが、**計画的な事業実施に支障。**
- **補助率が低く、採択基準(※)も厳しい**ため、利用できる事業者は限定的。

※例) 資本単価：施設整備に支出した費用を料金徴収の対象となる水量で割った金額

全ての水道事業者が必要な資金を確保できるよう…

国庫補助制度をより利用しやすくすることが重要



給水人口の減少による 水道料金収入の減少

水道料金収入（全国）



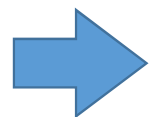
出典：総務省 地方公営企業決算



水道事業者の人材育成・確保

現状と課題

老朽化等に起因する事故を防止するためには、施設の点検を含む維持・修繕や更新を適切に行い、水道施設を良好な状態に保つ必要がある。



幅広い専門的知識や技能を有する職員が欠かせない



しかし

●水道事業の**技術職員は減少傾向**

過疎地域では技術職員 1 人で対応することも…

今後、人材不足による施設の維持管理・更新業務等への支障が懸念される。



安定した事業運営を実現するため…

**技術職員の人材育成・確保のための
取組などを図ることが重要**

水道事業に携わる専門人材の不足

技術職員数 計（人）



出典：公益社団法人 日本水道協会 水道統計

- 1 水道事業者が計画的に老朽化対策及び耐震化を進められるよう、防災・安全交付金等の国庫補助について、**年度当初から十分な予算額を確保すること。**
- 2 防災・安全交付金等の国庫補助について、水道施設・管路に係る老朽化対策及び耐震化事業の**補助率を引き上げること。**
加えて、資本単価要件をはじめとする**採択基準を緩和すること。**
- 3 水道事業に携わる技術職員の**人材育成・確保を支援するほか、**施設の維持管理・更新に関する新技術の開発・導入の推進など**水道インフラのメンテナンスの効率性向上に向けた取組を加速すること。**